

Mz; 髓細胞。Ne; 蜜槽。Ncz; 蜜槽ノ細胞。Ngf; 網紋脈管。Ot; 油滴。Ov; 卵子。Pa; 柔細胞。Pe; 內鞘。Pgt; 第一期脈管部。Pla; 胎座。Pls; 原形質。Po; 花粉粒。Pos; 花粉管。Pp; 柵狀細胞。Pph; 柱頭細胞。Prg; 第一期脈管。Prp; 第一期皮部柔細胞。Pst; 第一期篩管部。Qu; 膨脹細胞。Ri; 皮部。S; 篩管。Sec; 分泌物。Sh; 隔壁。SK.; 厚膜組織。Spg; 螺旋紋脈管。Sr; 第二期皮部。Srp; 第二期皮部柔細胞。St; 篩管部。Sta; 澱粉粒。Stg; 莖。Sto; 氣孔。Sw; 海綿組織。Tpf; 孔斑。Trg; 階紋脈管。Vkm; 枹化膜。Zlm; 「ツエルローゼ」膜。(終り)

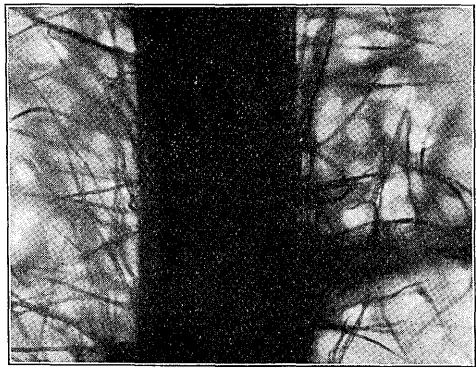
## 江州伊吹山所見

久内清孝

Kiyotaka HISAUCHI: Some Plants of Mt. Ibuki.

### ○だんかうばいノ一變種

昨年ノ夏、朝比奈先生ト始メテ江州伊吹山ニ登ツタラ、葉ノ裏ニ褐色毛ノアルだんかうばい (*Lindera obtusiloba* BLUME) ニ出會ツタ、後カラ澤山ノ標本ヲ檢シタラ、本州ノ西ノ方カラ、朝鮮及滿洲マデ分布シテ居ルコトガ判明シタ、ソコデ、例ニ依リ戸籍調べニトリカ、リ、靱山氏ノオ陰デ色々ノコトガ判ツタ。即チ *Catalogus Musei Bot. n. Lugduno-Batavi* p. 81 = *Lindera obtusiloba* ノ var. ト



江州伊吹山産うらげだんかうばい(新稱)ノ葉裏ノ毛 (額田年氏寫眞)

*Lindera obtusiloba* BLUME var. *tomentosa* MIQUEL showing hairs on back side of a leaf.

シテ var. *hirsuta* (SIEBOLD 採品 3 個、BUNGE 採品 1) var. *pubescens* (OLDHAM 採品 1 個) ガアルガ裸名ダカラ仕方ガナイ。次ニ *Mus. Lugd. Batav. I* (1850) p. 325 = var. *villosa* BL. ガアツテ *foliis subtus villosiuseculis* ナル記事ガアリ、其次ニハ DC. *Prod. XV* (1864) p. 346 = var. *villosa* MEISN. ガアツテ *foliis*

subtus villosiuscula ト云フ記事ガアル。其次ニハ Journ. Linn. Soc. IX (1867) p. 168 = *Lindera mollis* OLIVER ガアツテ、夫レガ OLDHAM ガ Korean Archipelago デ採ツタモノデ、マタ、之ガ MIQUEL ニヨリ (Prolusio (1867) p. 358) var. *tomentosa* ト改メラレテ居ルト言フノダカラ全ク恐レ入ル。若シ、之等ガ完全ニ同一物ヲ指シテ居ルナラ問題ハナイガ、若シ、相互間ニ差ノアルモノナ



イブキダイコン

沙蘿蔔

日本産物志 (近江、上) 所載いぶきだいこんノ圖  
*Raphanus sativus* L. var. *macropodus* MAKINO  
forma *caudatus* MAKINO (1928) from the Nippon  
Sanbutu-si (1872 by KEISKE ITO.

### ○たむらさうノ白花品

伊吹山産トシテ、對山館ノ花瓶ニ、たむらさうノ白花品ガ挿シテアツタ、之モマター品種ト考ヘラレル。標本ヲ東大ト京大ノ腊葉室ニ一本ヅ、オク。何レ好事家が學名ヲ與ヘルダラウ。

### ○やいとばなノ異品

伊吹山下、上野ノ茶畑ニ、やいとばなノ一異品ガアル。ソレハ、花ノ中心部

ラ、例ニヨリサツパリ判ラナイガ他ニ證據ノ舉ル迄前記 OLIVER ノ subtus praecipue ad nervos dense cinnamomeo-sericeo pilosis ナル記載ノアル *L. mollis* OLIV. ニ出發シタ *L. obtusiloba* var. *tomentosa* MIQUEL ヲ用ヒタイト思フ、然シヨク考ヘレバ forma 位ノ價值シカ無イ様ニ思ハレルガ、サレバトテ品種名ヲ下スノモ、徒ラニ、名稱ノ數ヲ殖ス丈ダカラ止メテうらげだんかうばいと言フ和名ヲ提唱シテオク。

尙此外ニ最近分類地理デ小泉博士ガ四國カラ報告サレタ *Benzoin trilobum* S. et Z. var. *pilosum* KOIDZUMI (けしろもじ) モ、同山中彌高方面デ見受ケタ、其標本ハ東大腊葉室ニオク。

ノ赤紫色ノ色ガ、花冠ノ列片ニ放射狀ニ延ビ、花ヲ上方カラ見ルト、海軍ノ將官旗ノ様ニ見エルノデアツタガ、残念ナガラ、腊葉ニシタラ少シモ普通ノモノト區別ガ出來ナクナツタ。兎ニ角美シイ一品デアル。

### 〇いぶきだいこん

伊吹山下ナル、對山館主人ノ好意ニヨリ、小形ノ大根ヲ味フヲ得タ、之即チ故伊藤圭介博士編文部省發行(1872)日本產物志、近江、上、所載ノモノデ同州、上野ノ名產トシテ古來相當ニ有名ナモノデアル。依テ日本產物志所載ノ圖ヲ茲ニ轉寫スル。本品ハ根尖ニ長キ細根ヲ生ズルニヨリ、一名ねづみだいこんトモ云フ。マタ、日本產物志ノ記事ヲ下ニ掲ゲテオク。

「江州伊吹山ノ麓、上野村ノ名產ナリ根短ク末ニ至リ豐肥ニシテソノ端ニ細キ根アリ形鼠尾ニ似タリ味甚ダ辛シ麵具ニ宜シ煮熟スレバ甘シ七月頃専ラ食用トナス多ク西京ヘモ輸出ス」

尙細根部ヲ含マザル根ノ長サハ 16 cm. 太サ 5 cm. 内外デアル。

## 雜 錄 Miscellaneous

### 蓬萊島ニ地衣ヲ探ネテ (其一)

佐 藤 正 己

秦ノ始皇帝ガ不老不死ノ靈藥ヲ求メサセタト云フ我ガ蓬萊島ハ同時ニ地衣類ノ寶庫デモアル。朝比奈博士ノ數回ノ採集行デ集メラレタ標本ヲ主トシ、ソレニ FAURIE・緒方正資・佐々木舜一等ノ諸氏ノ採集品ヲ加ヘテ合計 260 種ノ地衣ガ現在マデ知ラレテキルガ、地衣學的ニ踏査サレタ地域ハマダマダ臺灣ノゴク一小部分ニ過ギナイカラ今後ノ研究調査ニヨツテドノ位フエルカー寸見當ガツカナイ。シカモ、タダ種類ガ多イト云フダケデナク、ソノ種類ガ臺灣特有ノモノトカ、支那及ビ熱帶地方ニ共通ナモノデ日本本土デハ見ラレナイモノナドガアルノデ頗ル注目ニ値スル地域デアル。近來主トシテ北日本ノ地衣類ヲ研究シテキル筆者ハ、目下白麿跳梁シ積雪數尺ノ下ニ埋モレタ東北ノ山々ニ別レテ告ゲテ正月ノ松飾リガトレルヤ否ヤ東京ヲ飛出シテ待望ノ臺灣ヘノ採集旅行ヲ決行シタ。貴重ナ本誌ノ一部ヲ借リテソノ概略ヲ報告スルコトニシタイ。

參考マデニ今回ノ採集旅行ノ日程ヲ簡單ニ示スト次ノヨウニナル。